



くん煙作業に 自衛隊の応援

ことしは例年にならぬ異常低温で収穫期が遅れ、平年より15日は成育が遅れていることから、少しでも刈取りを回復させようと、市内の各農家では対策を進めています。特にこの時季の大敵は霜です。

このため、霜発生の日は夜を徹してくん煙作業が続けられていますが、陸上自衛隊留萌駐屯部隊でも、霜害くん煙作業のために、市内幌糠町などの山間稲作地帯へ出動。

この出動は10月に入ってから3日置きの出動で、一回延べ40人の隊員が農家の人たちと共に、くん煙作業を進めてきました。

夜間の、それも午後10時から翌朝の4時までの激しい作業に、稲作農家の人びとも心強い助っ人に感謝をしていました。



婦人自衛官募集

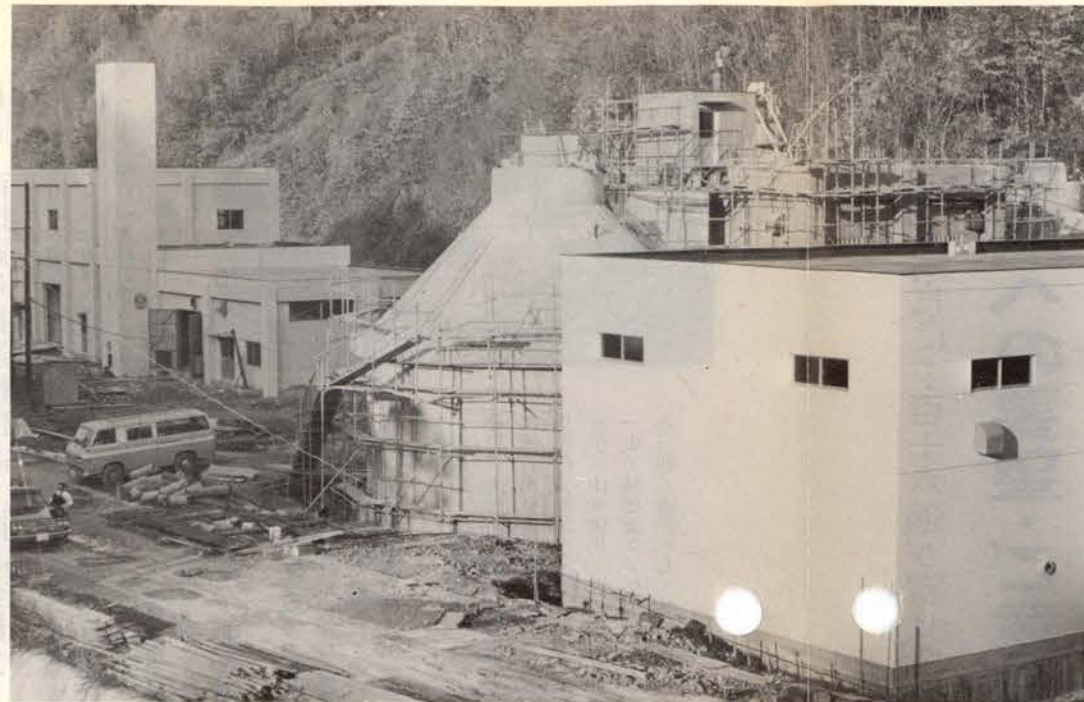
資格：52年4月1日現在で18歳～25歳未満の女子

受付：11月30日まで

試験：51年12月4日～6日の間、1日のみ

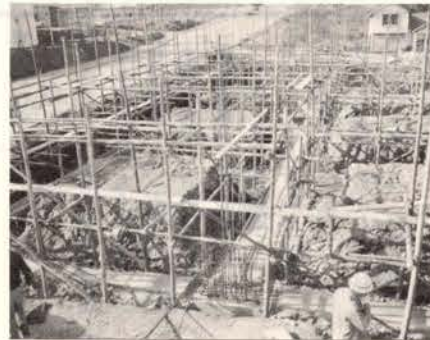
場所：旭川市内第2師団司令部

給与：73,700円ボーナス年3回(5.2カ月分)



施設づくり・生活基盤整備

ただいま急ピッチ



← 武道館は基礎工事を

スポーツセンター向いの市場に建設中の「留萌勤労者体育センター」(通称武道館)は、基礎工事が進められ、明年1月完成めざして工事が進んでいます。総面積672平方メートルに柔剣道場、空手道など武道の殿堂としての完成が待たれます。



← 木材整理面に模様がい

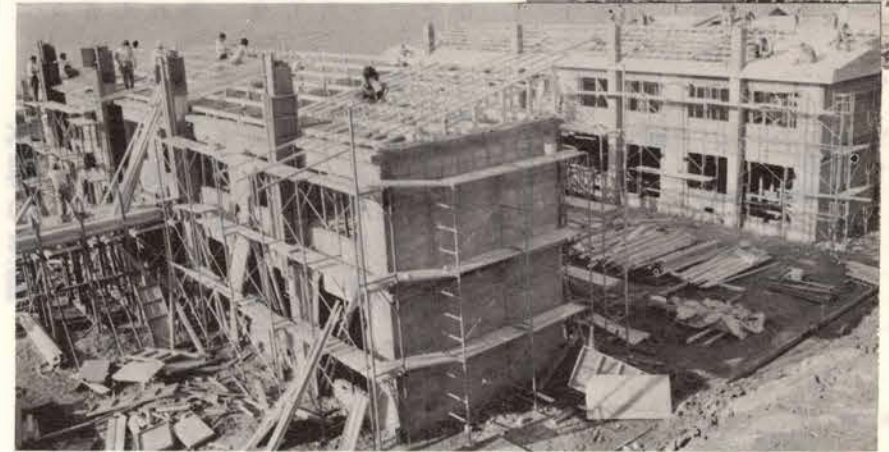
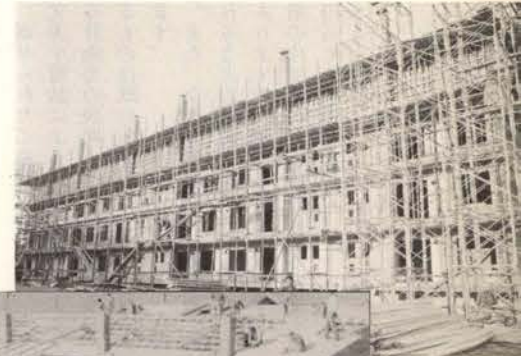
かつては石炭の積込みでローダー一音を響かせた留萌港北岸の高架も、エネルギー革命には勝てずついに、その姿を消しつつあります。ことしは433坪のうち、263坪が取り除かれ、1,700平方メートルの広場が誕生、この広場の高度利用でより港湾機能の充実を図るものです。

「住みよく明るい留萌づくりを、市ではこの目標に向かって、ことしいろいろな事業を進めてきました。通勤の途中、買物の途中でもあちこちで工事を目にされることがあるでしょう。

道路や建物などの生活基盤の整備を始め、各種施設の建設工事、そして留萌の発展に大きな役割を持つ西防波堤延長工事にと、ブルドーザーやグレーダーなどの土木機械も住みよい留萌づくりめざして槌音高く響き、住みよい留萌市づくりに多くの工事が急ピッチで進められています。ではその主な工事を拾ってみましょう。

← 全容を表わした衛生センター

昨年10月から工事が進められてきた「留萌市外2町衛生センター」の工事は、外観施設がほぼ顔を揃え、今後は内容の設備関係へ進みます。建設地は大和田町8線沢(市立潮静小前から1.1キロ)で、6,900平方メートルの敷地に沈砂池、投入室、汚泥乾燥焼却炉などの施設建物が急ピッチで進められています。



↑ 11月入居めざし進む工事

ことしの市営住宅建設工事は三泊団地に12戸を建設中(3LDK8戸、2LDK4戸)で、今11月下旬の入居を前に、槌音高く進められています。また、野本町に建設中の道営住宅(写真上)も同時に完成をめざして工事が進められています。一人一室、をめざして市の住宅施策は着々と進みます。

← 保管庫倉庫など建設

留萌地域水産物産地流通加工センター形成事業も急ピッチ、留萌港南岸に建設中の市場と付帯した施設として、堀川町には製品保管庫、資材倉庫などの建設が進められています。この倉庫が完成することにより、市内加工業者の方の集約化を図るとともに、公害防止など環境の保全を図ります。またコスト等での経済安定化にも期待が寄せられています。

